The 15th HEROES CUP

近畿地区大会

2022.11.13.［SUN］at たまゆら陸上競技場（枚方市立陸上競技場）

近畿地区大会代表者会議

開催日時：2022年10月15日(土)
19：00～
ZOOM会議

HEROES

第15回ヒーローズカップ近畿地区大会代表者会議アジェンダ

1．開催挨拶［深尾 コミッショナー］	【参加スクール】
2．挨拶［山田 バイスコミッショナー］	伏見RFC
3．近畿地区大会実施要綱［岡本 近畿地区大会運営委員長］	洛西RS
4．競技委員会より［平野 近畿地区大会競技委員長］	アウル洛南JRFC
5．レフリー委員会より［高岡 レフリー委員長］	野洲RS少年団
6．コロナ対策について［岡本 実行委員：コロナ担当］	橿原RS
7．質疑応答	同志社JRFC
8．組み合わせ抽選会	草津RS
※予備抽選は行わず、申込順より本抽選を行います。	京都プログレRFC
9．閉会挨拶［林 NPO法人ヒーローズ会長］	山城RS
	KIWI'S
	南京都RS
	米原RS
	キッズラグビーとりみ
	岩出RS
	瀬田SS 大津RS
	生駒少年RC
	京都西RS
	和歌山RS
	城陽RS
	やまのべラグビー教室
	京都RS
	近江八幡市RS・イーストレイクRS

HEROES CUP

（申込順）

第 15 回 ヒーローズカップ 近畿地区大会 実施要綱

ヒーローズカップ近畿地区大会を開催するにあたり、試合形式、競技方法について、下記の通り定める。
本書に記載の無い事項については、第１５回ヒーローズカップ開催要綱、同実施規約、同安全対策規程に基づくものとする。

１．日程

2022 年 11 月 13 日（日）
※雨天決行の予定ですが、中止の場合、午前 6:00 に各チーム責任者に連絡いたします。

２．会場

11 月 13 日（日）　たまゆら陸上競技場〈枚方市立陸上競技場〉
（大阪府枚方市中宮大池４丁目 10－1）

３．参加チーム

（公財）日本ラグビーフットボール協会の近畿地区各府県協会所属スクールで、１スクール１チームとする。（単独チームで人数が不足している場合のみ合同チーム可能）

４．試合形式

（1）組み合わせについて

参加チームをＡブロックからＦブロックまでの６ブロックに分け、各ブロックはトーナメント形式又はリーグ戦形式で対戦する。
※参加スクール数により変更の可能性あり

（2）順位決定について

トーナメント形式の引き分けの場合は、抽選により上位の試合に進出するものとする。

リーグ戦形式は勝ちを勝ち点 3、引き分けを勝ち点 1、負けを勝ち点 0（不戦敗は－１点）とし、勝ち点合計数の多い順に順位を決定する。

・勝ち点が同じ場合は、①総得失点差　②総トライ数　③抽選の順番で順位を決定する。

5．関西大会への出場権について

各ブロックの１位チームに関西大会への出場権利が与えられる。１位チームが止むを得ない理由で権利を放棄した場合には、２位チームに出場権利を付与する。

6．競技方法

前述の通り、第 15 回ヒーローズカップ開催要綱、実施規約に基づき実施する。

① ルールは（公財）日本ラグビーフットボール協会制定の『令和４年改訂版競技規則 U-12 ミニラグビー・高学年』による。
② 試合の組み合わせは抽選にて行う。
③ タイムキーパー制で行う。
④ 規定のチーム構成人数未満による試合

１チームにつき規定の人数（９名）より少ないプレーヤーによる試合は、試合途中において怪我や病気により出場選手が８名まで許可される。但し、試合開始時点では９名の健康な選手を揃えなければならない。人数の足りないチームが他のチームから選手を借りて試合を行う場合は、人数の足りないチームは不戦敗として、交流試合として試合を実施する。

⑤ブリーフィングについて

伝達事項は代表者会議で各チームへお伝えします。

※キャプテン会議は代表者会議と同時刻に本部前にて開催。

⑥ドレスチェックについて

第一試合前に担当レフリーが行う。

※チェック項目

・スパイク（取り換え式ポイント及び金属がついていないスパイク）

・ヘッドキャップの確認

・WR 認定ゴーグル、着用サポーターの確認

・爪（爪が長い選手は切ってから再チェックを受けること）

・服装

⑦服装

寒さ対策として、長袖アンダーウェア、ロングスパッツを着用しての出場を認める。また、グローブ（指先のないもの）の着用は可とする。但し、スパッツの色は、出来るだけパンツの色と同系色か、黒、白を着用のこと。

マウスガードは、出来るだけ着用することが望ましい。

⑧ゴーグルの取り扱いについて

ワールドラグビーの承認マークが付いたゴーグルであれば着用を認める。

他のスポーツ用ゴーグルを着用しての出場は一切認めません。

⑨ベンチの位置・キックオフ・陣地について

コロナ対策及びベンチの入れ替えをスムーズに行う為、１グラウンドに対してベンチは４カ所作り、空いているベンチは次戦のチームベンチとする。

ベンチの位置は、スケジュール表に記載しています。ベンチ側がそれぞれの前半の陣地となり、バックストレート側のベンチ（陣地）のチームが前半キックオフを行う。

ベンチに入れるのは、登録された、試合責任者を含むコーチ（３名まで）、セーフティアシスタント１名、ウォーター2名、チームカメラマン（2名まで）、選手のみとする。

ベンチ入りのコーチはコーチタグを貸し出しします。

試合中は、ベンチからプレーヤーへの指示は、一切禁止とする、指示があったと判断した場合は、レフリーまたは大会役員が注意する。該当者は、それに従わなければならない。

新型コロナウイルス対策の為、ベンチからの声援も禁止とし応援は拍手を推奨する。

⑩セーフティアシスタント（1名）

セーフティアシスタントは、必ず有資格者が対応する。

チームに有資格者を用意できない場合は、大会本部に事前申請すること。（大会本部で手配）

セーフティアシスタントは、SA ビブス（大会より貸出）を着用し、タッチラインの外でアシスタントレフリーの邪魔にならない位置で待機すること。選手が負傷した際には、速やかにグラウンド内に入り、必要な対応をすること。基本的にベンチに入らない方が望ましい。

セーフティアシスタントは、選手に対してプレーの指示をしてはならない。

⑪ウォーター（2名）

ウォーターは、ベンチもしくは、ゴールポスト側タッチラインの外側の自陣５ｍ付近で待機する。

給水は、いずれかのチームが「トライした後」から「キックオフでプレーが再開されるまで」の間に速やかに行うこと。

試合序盤のトライでのウォーターは不必要と考えます。12 分という短い試合時間ですので、ご協力お願いします。

新型コロナウイルス対策でスクイズボトルなどの使い回しは禁止し、選手１人あたり１つのボトルが必要です。

その際、あらかじめカゴや大きなカバンを持ち込み、スムーズに給水ができる準備を行って下さい。

コーチ（大人）がウォーター係を兼任できない場合は、リザーブの選手がビブス着用の上、５名までウォーターをすることができます。

ウォーターは、Water ビブス（大会より貸出なし・チームで必ず準備）を着用する。

尚、ウォーターの選手への指示見受けられる場合は競技役員より注意しますので、あらかじめお控え下さい。

⑫チームカメラマン（2 名まで）

チームカメラマンは、配布する腕章を見えるところに着用しチームカメラマンであることがわかるようにする。

ＡＢ面のグラウンドの間のエリアでの撮影は禁止とします。

⑬試合開始

コイントスは行わない。⑨のベンチの位置によりキックオフ・陣地を決定する。

スケジュール表のスタート時刻＝キックオフの時刻とする。

キックオフの２分前には、ベンチ横のセンターライン位置（試合入場待機場所）に入場できるように待機すること。

⑭試合時間

各ブロックともに 12 分ハーフ（ハーフタイム３分）で実施する。

Ａ面、Ｂ面ともに同時にキックオフを行うので、本部席より試合開始のアナウンス、ハーフタイム、試合終了の合図を行う。原則としてロスタイムによる試合時間延長は行なわない。

タイムキーパー制を採用し、大会本部で時間管理を行うが、事情によりレフリーとタイムキーパーとの間に大きな誤差が生じた場合は、大会本部よりレフリータイムで実施する旨をレフリーに伝え、レフリーより両キャプテンに【レフリータイムで実施する】ことを説明の上、レフリーの判断、責任で終了する。

⑮ゴールキック

トライ後のゴールキックは、実施しない。

⑯ボール

試合に使用するボール（４号球）は、大会本部にて用意する。

⑰選手交代について

選手の交代は、交代人数を制限しない。また、一度交代した選手の再出場を認める。

プレー中の選手交代は、１度の交代を３人までとし、それ以上の場合は、２回以上に分けて交代する。

選手交代時は、競技役員に交代する選手の背番号（ない場合は、名前）を申告し、レフリーの指示に従って交替すること。

後半開始時の交代については人数制限を設けない。また、競技役員への申告も不要とする。

負傷時の交代については、レフリーの指示により交代選手を入れる。この場合は、競技役員への申告は不要。

⑱一時退出（シンビン）について

シンビンでの一時退出は、３分間とし、競技役員が計時する。

⑲負傷時の対応について

プレー中に選手が負傷した場合、レフリーは試合を中断しドクターを呼び、負傷状況を確認する。ドクターが試合続行を認めない場合は、レフリーは速やかに当該チームに選手交代を要請する。

その際、自チームのセーフティアシスタントからの助言（例、まだやれます…等）は禁止とし、決してドクターの判断に異を唱えてはならない。

頭部打撲により、一時退場をしたプレーヤーは例え脳震盪・脳震盪疑いではないとドクターより判断されたとしても、安全を第一優先とする為、当該試合で再出場は認めない。しかし、マッチドクターにより脳震盪・脳震盪疑いではないと判断された場合は、次試合以降の試合には出場できる。

７．アフターマッチファンクションの実施

本大会では、下記の要領を参考に試合毎にアフターマッチファンクションを実施する。

選手全員が不織布マスク着用後、アフターマッチファンクションを行う。

場所は密にならないエリアを別途指示する。

新型コロナウイルス対策の為、チーム入り交じっての集合写真撮影は不織布マスクをしながら整列し、撮影時はマスクを外しても構わないが、撮影中は一切声を出さないように心掛ける。

8．レフリーについて

レフリー、アシスタントレフリーは、大会本部で各協会公認レフリーを手配する。

第３AR は、競技役員が担当する。

9．試合記録について

レフリー用のスコアカードは、大会本部により用意した所定のものを使用しトライ数を記録する。

記録役員は、公式記録票にトライ数、得点、反則数を記録する。

試合終了直後、レフリー、記録役員、両チームの担当コーチが点数を確認し、レフリーはスコアカードに必要事項を記入・署名後、記録役員に渡し、記録役員が本部席に提出。本部席役員が公式記録票にスコアカードを貼付する。

※新型コロナ対策の為に人員が不足する場合は、記録役員を割愛する可能性がある。

10．ベンチ、観戦のマナーについて

本大会では、試合中において、コーチ、保護者、観戦者からプレー中の選手への指示は、一切禁止とする。

また、新型コロナウイルス対策として、大声での声援も禁止とし、不織布マスク着用の上、拍手で応援をおくられることを強く推奨します。

各チームの試合責任者は、チーム内関係者に周知すること。

今年度は新型コロナウイルス感染状況を踏まえながらも、観戦者の人数制限を行いません。しかしながら、密になっている場所や大声でマスクなしで会話をされるなどが見受けられますと、役員より注意を促します。場合によっては、次大会以降何かしらの制限を設けないといけない場合もございますので、くれぐれも感染対策にはご協力の程、宜しくお願い致します。

11. ウォーミングアップエリアの利用について

全てアンツーカー部分でのアップとなるため、全チームウォーミングアップは必ずアップシューズで行うこと。

次の試合のチームがトラック内の半円エリアでアップを行える。それ以外のチームは400mトラックや空いているスペースで譲り合って使用すること。

試合直前までアップシューズを履いて、ベンチ入りした時にスパイクに履き替えます。前の試合中でも次チームのベンチは空いていますので、時間配分を考えて試合開始2分前までに試合入場待機場所に集まれるようにお願いします。

12. 救急車の要請について

試合中の負傷により、救急車を要請する場合は、マッチドクターから大会役員を通じて要請するので、チーム関係者は、直接要請しない。

試合中以外で救急車要請する場合、必ず、大会本部を通じて要請すること。

13. 駐車場について

駐車場は有料パーキングをご利用ください。第1･第2駐車場で約400台収容できますが、総合体育館でのイベントにより、駐車場が満車になる可能性もありますのでご了承ください。

駐車券を競技場受付及び総合体育館受付で割引が受けられます。

近隣には有料パーキングがなく、徒歩10分の山田池公園の駐車場が比較的近い駐車場になります。ただし、山田池公園ではボールを使った練習やアップは絶対にお控えください。

または、京阪電車／枚方市駅または樟葉駅下車→バス

JR学研都市線／津田駅または長尾駅下車→バス

14. 当日代表者会議について

11月13日（日）たまゆら陸上競技場での代表者会議は9時20分から開催致します。

会議出席者は本部席までにお集まりください。

10時10分からはSA会議を開催します。SAを担当するコーチは必ず参加お願い致します。

15. その他注意事項

チーム待機場所・荷物置き場はグラウンド周辺となります。

貴重品の管理は各チームの責任でお願いします。

グラウンド内には水以外は持ち込まないようにお願いします。スポーツドリンク不可。

グラウンド内は飲食禁止。（お菓子・ガム・アメ含む）

食事をとる場合はスタンド下やテント設置可能エリアでお願いします。

競技場内は全面禁煙（電子タバコ、加熱タバコを含む）

ゴミ等はチームで責任をもって持ち帰ってください。

お帰りの際は、荷物置場の片付け、ゴミのチェックをした後、必ず本部席に帰ることを報告に来てからチームでまとまって退場してください。

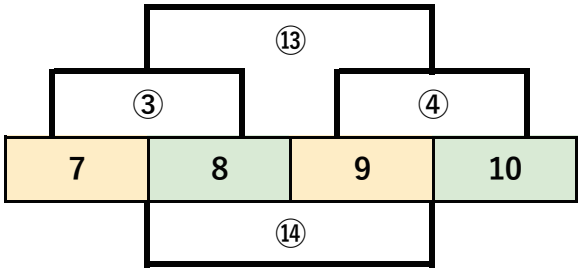
Aブロック

	1	2	3
1	–	①	⑨
2	①	–	⑰
3	⑨	⑰	–

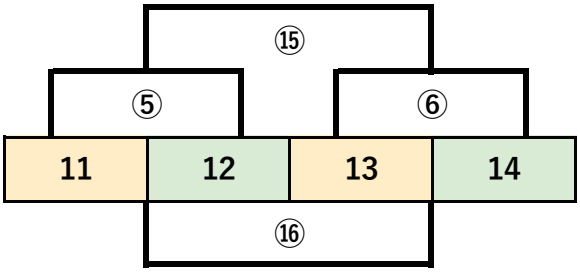
Bブロック

	4	5	6
4	–	②	⑩
5	②	–	⑱
6	⑩	⑱	–

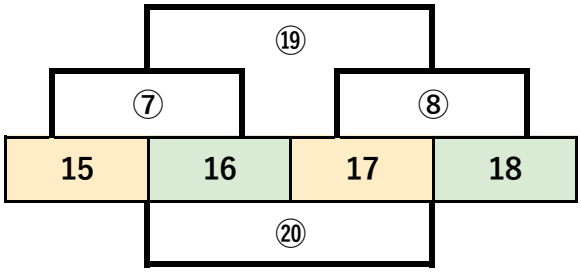
Cブロック



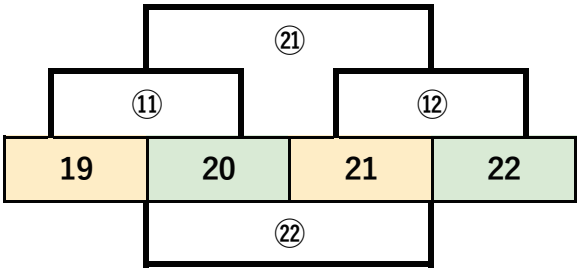
Dブロック



Eブロック



Fブロック



第15回ヒーローズカップ近畿地区大会　スケジュール

※スタッフ7：00集合

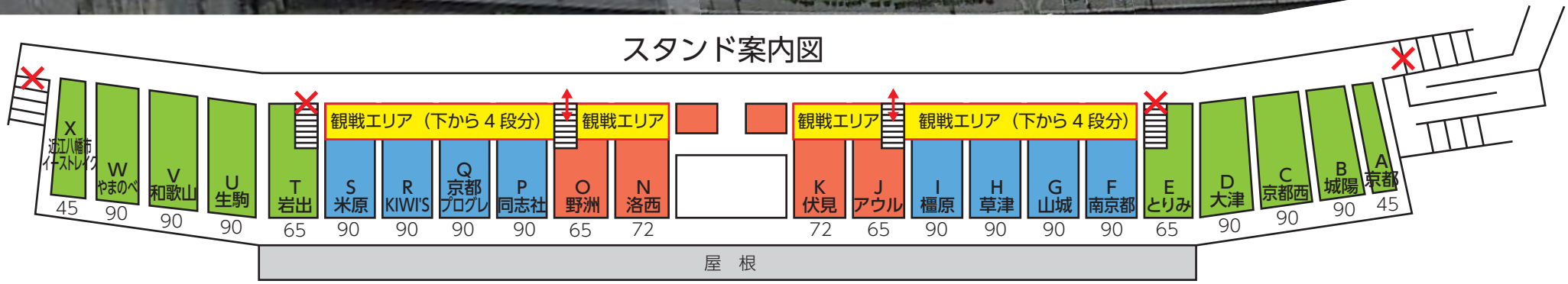
8:30	～	9:30	選手・コーチ受付及び体温チェック後入場　チーム入場完了後保護者受付・入場
9:20	～		代表者会議・キャプテン会議
9:40	～		開会式（全チーム整列）
10:00	～		写真撮影（試合開始時間が早いチームより撮影）※ドレスチェックは第一試合の前
10:10	～		SA会議

12分-3分-12分				Aコート						Bコート				
10:40	～	10:52	①	1	A①	対	A④	2	②	4	B⑤	対	B⑧	5
10:55	～	11:07												
11:10	～	11:22	③	7	A②	対	A③	8	④	9	B⑥	対	B⑦	10
11:25	～	11:37												
11:40	～	11:52	⑤	11	A①	対	A④	12	⑥	13	B⑤	対	B⑧	14
11:55	～	12:07												
12:10	～	12:22	⑦	15	A②	対	A③	16	⑧	17	B⑥	対	B⑦	18
12:25	～	12:37												
12:40	～	12:52	⑨	1	A①	対	A④	3	⑩	4	B⑤	対	B⑧	6
12:55	～	13:07												
13:10	～	13:22	⑪	19	A②	対	A③	20	⑫	21	B⑥	対	B⑦	22
13:25	～	13:37												
13:40	～	13:52	⑬	③勝	A①	対	A④	④勝	⑭	③負	B⑤	対	B⑧	④負
13:55	～	14:07												
14:10	～	14:22	⑮	⑤勝	A②	対	A③	⑥勝	⑯	⑤負	B⑥	対	B⑦	⑥負
14:25	～	14:37												
14:40	～	14:52	⑰	2	A①	対	A④	3	⑱	5	B⑤	対	B⑧	6
14:55	～	15:07												
15:10	～	15:22	⑲	⑦勝	A②	対	A③	⑧勝	⑳	⑦負	B⑥	対	B⑦	⑧負
15:25	～	15:37												
15:40	～	15:52	㉑	⑪勝	A①	対	A④	⑫勝	㉒	⑪負	B⑤	対	B⑧	⑫負
15:55	～	16:07												
16:20		16:35	閉会式（全チーム整列）											

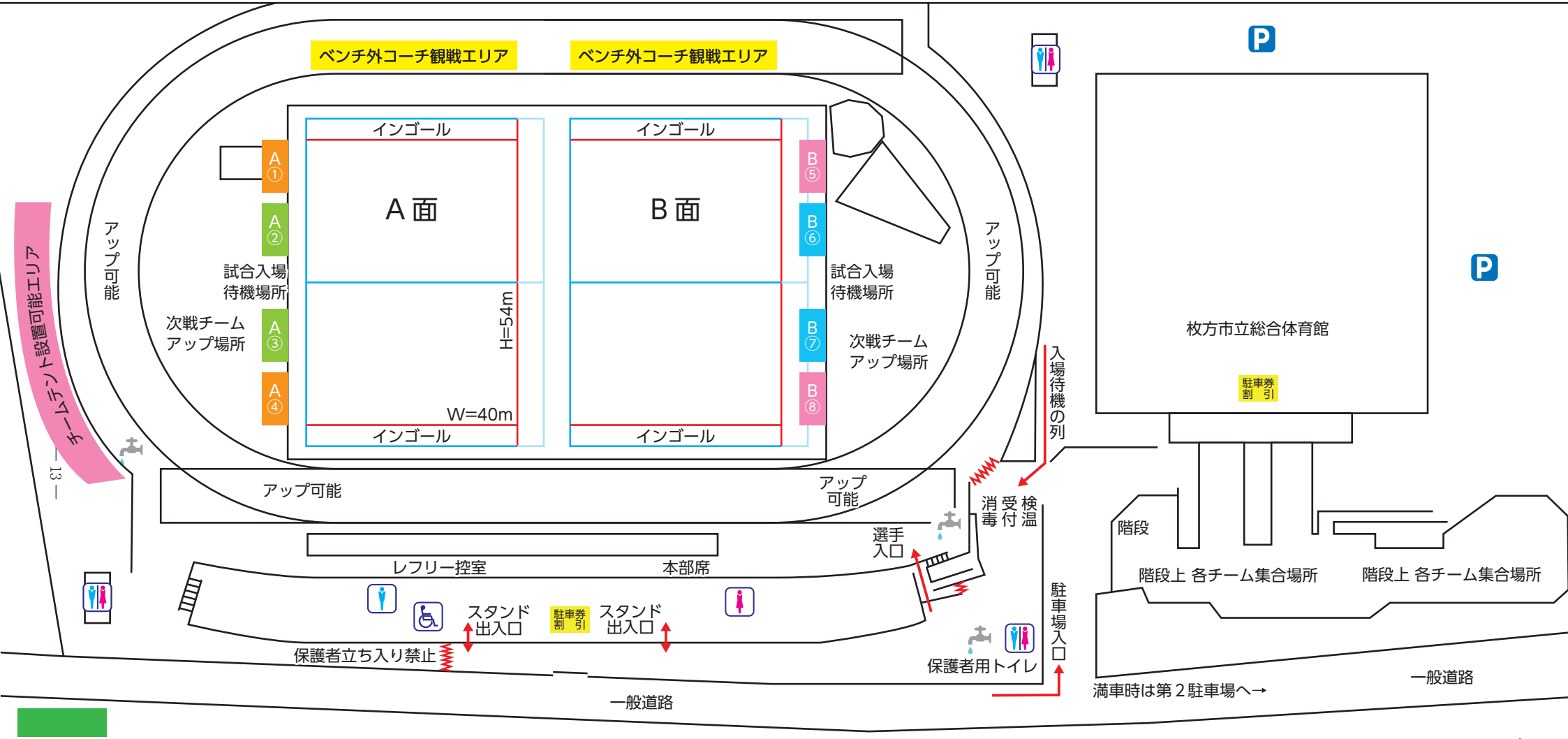
会場案内図

FamilyMart

スタンド案内図

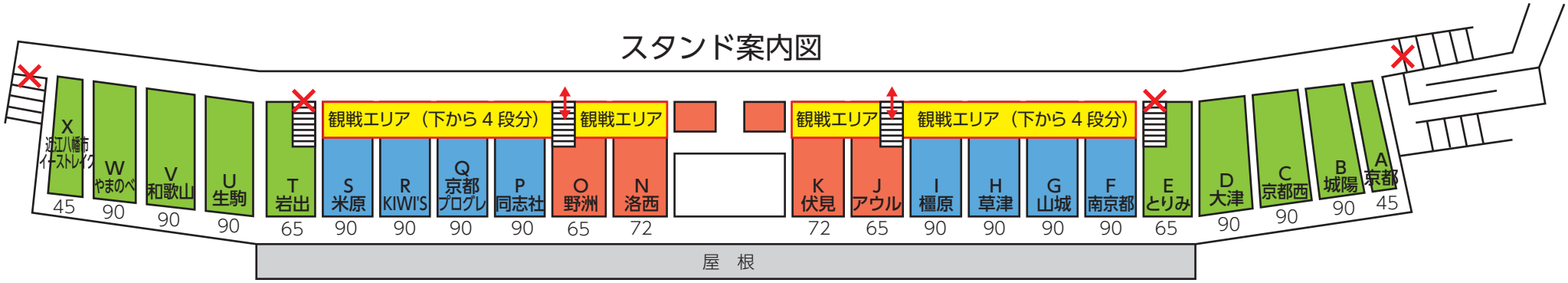


会場案内図



FamilyMart

スタンド案内図



会場入場案内図

健康管理確認表兼承諾書は選手・コーチ・家族、全ての方が１人１枚持参の上、入場券という認識で個別に持って入場することになります。

指導員・選手の入場の流れ
①赤タイルの階段上のエリアでチームの集合をする
②全員が【健康管理確認表兼参加承諾書】を持ってきているかの確認をする
　※選手は参加承諾書に署名捺印の確認
　※チームでは集めず、各自で手に持つ
③遅刻者以外、ある程度そろった次点で順次誘導
④検温チェック
⑤一人一人が【健康管理確認表兼参加承諾書】を提出
⑥指導員はリストバンドを受け取る
⑦消毒
⑧入場
※遅刻者は随時受付にて対応する

第15回 HEROES CUP　健康管理確認表 兼 参加承諾書

第15回ヒーローズカップは、スポーツ庁の定める「スポーツイベント開催・実施の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、ヒーローズカップでのガイドラインを作成致しております。大会当日にグラウンドへご来場の全ての方へ下記の項目をお願いしております。大会のコロナ対策、安全確保のためにこのような条件で大会を運営致しますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

記

①２週間前からの体温及び健康チェック
　大会２週間前より37.5℃以上の発熱及びチェック項目に１つでも該当する方は会場への入場を禁止。
②健康管理確認表 兼 参加承諾書の提出（大会当日持参）※下部に記載
※その他、新型コロナウイルス対策については、
　最新版をホームページにて必ずご確認お願い致します。

新型コロナウイルスへの対策について

第15回ヒーローズカップは上記の通り対策やお願いを行いますが、
万が一感染症の懸念があった場合において、大会主催者として一切の責任は負いません。

健康管理確認表［選手・指導者・観戦来場者・大会関係者］

氏名		スクール名 団体名	
住所			連絡先

●大会前日～２週間前までのチェック項目　　全て該当しない場合 ✓を記入 ☐
☐37.5℃以上の発熱（PCR検査・抗原検査での陽性は含まない）
☐だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）　☐喉痛や味覚の異常
☐新型コロナウイルス感染症罹患とされた者との濃厚接触の有無
☐過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
☐咳、のどの痛みなど風邪の症状
☐体が重く感じる、疲れやすい等
☐同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

●大会当日朝のチェック項目　　下記の項目に関して該当するものにつをつけて下さい
☐朝の体温　℃
☐熱がある　☐下痢をしている　☐味覚や嗅覚異常　☐食欲がない
☐体がだるい　☐頭痛や筋肉痛がある　☐飲物摂取が十分

※一人１枚記入の上、当日朝の受付に提出。

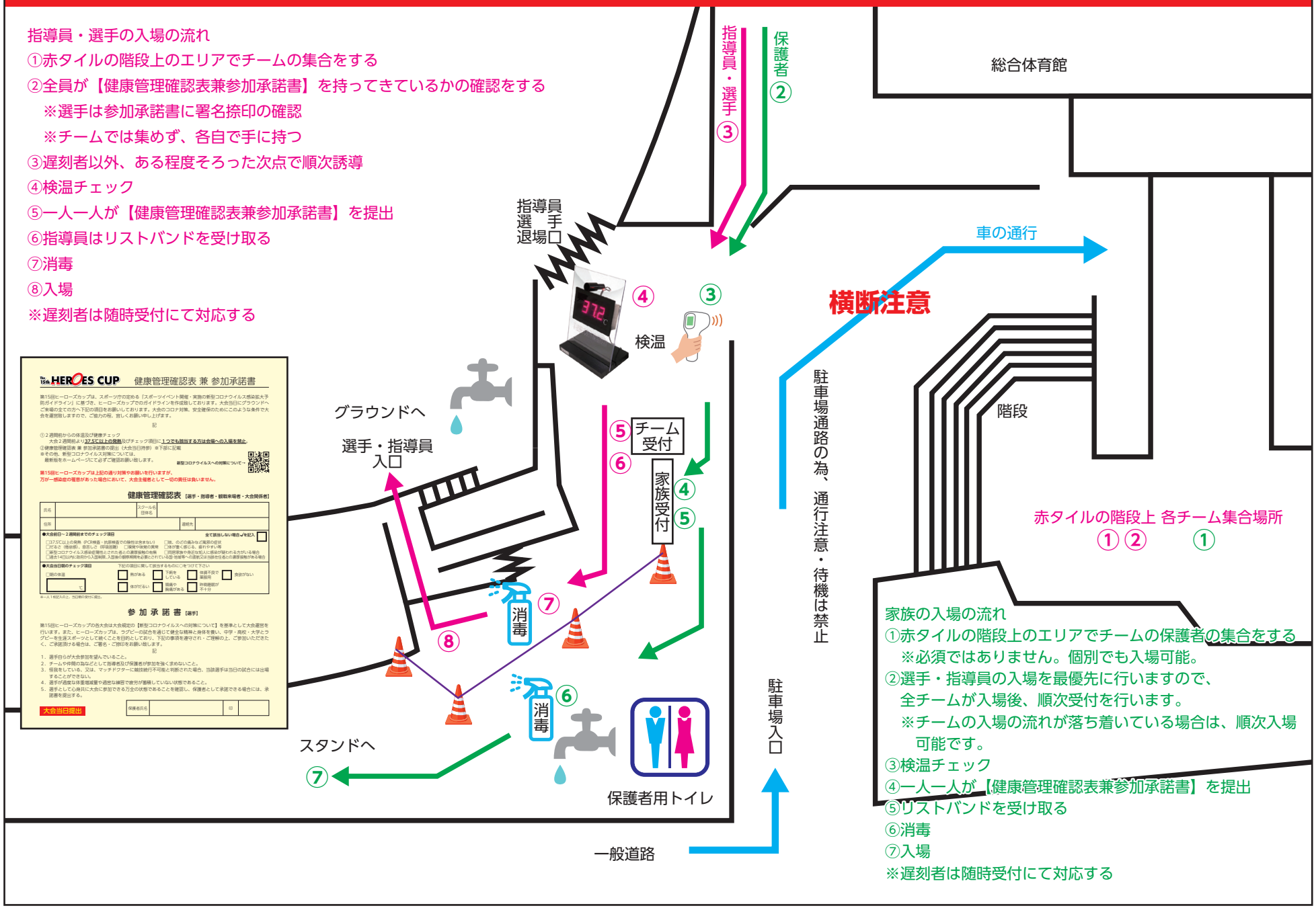
参 加 承 諾 書［選手］

第15回ヒーローズカップの各大会は大会規定の【新型コロナウイルスへの対策について】を基準として大会運営を行います。また、ヒーローズカップは、ラグビーの試合を通じて健全な精神と身体を養い、中学・高校・大学とラグビーを生涯スポーツとして続けることを目的としており、下記の事項を遵守され、ご理解の上、ご参加いただきたく、ご承諾頂ける場合は、ご署名・ご捺印をお願い致します。

記

1. 選手自らが大会参加を望んでいること。
2. チームや仲間の為などとして指導者及び保護者が参加を強く求めないこと。
3. 怪我をしている、又は、マッチドクターに競技続行不可能と判断された場合、当該選手は当日の試合には出場することができない。
4. 選手が過度な体重減量や適切な睡眠で疲労が蓄積していない状態であること。
5. 選手として心身共に大会に参加できる万全の状態であることを確認し、保護者として承諾できる場合には、承諾書を提出する。

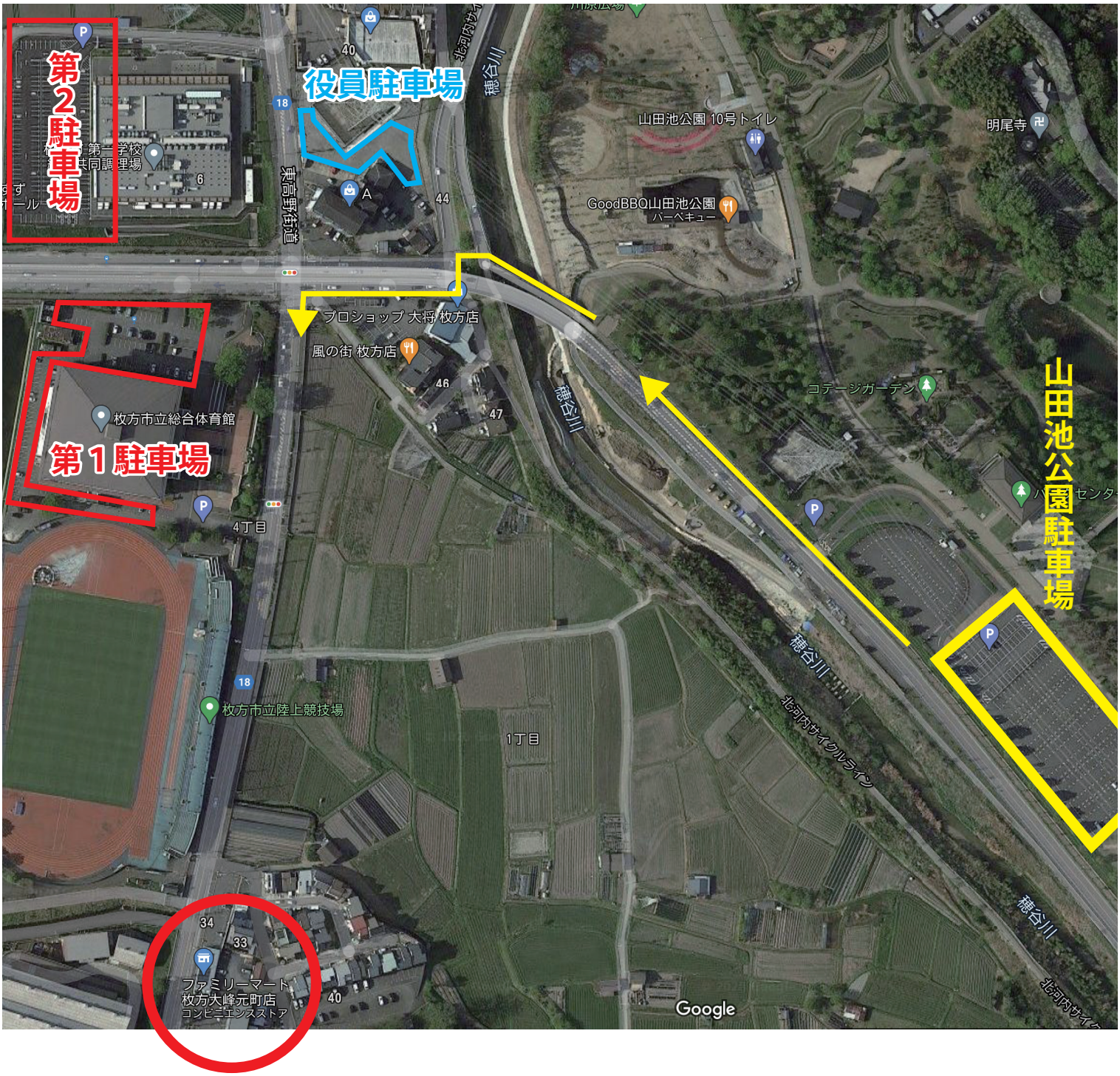
大会当日提出　　保護者氏名　　㊞



家族の入場の流れ
①赤タイルの階段上のエリアでチームの保護者の集合をする
　※必須ではありません。個別でも入場可能。
②選手・指導員の入場を最優先に行いますので、
　全チームが入場後、順次受付を行います。
　※チームの入場の流れが落ち着いている場合は、順次入場可能です。
③検温チェック
④一人一人が【健康管理確認表兼参加承諾書】を提出
⑤リストバンドを受け取る
⑥消毒
⑦入場
※遅刻者は随時受付にて対応する

第一・第２駐車場が満車の場合

山田池公園の駐車場（有料）が比較的に近い駐車場です。



ファミリーマートの駐車場には絶対に駐車しないでください。
<u>運転手がいる</u>ということでも大変迷惑をかけることになります。
ラグビー関係者が占領しているということにならないように、
保護者の方々への徹底をお願いします。

第15回　ヒーローズカップ　開催要綱

2022.9.29. 改訂

1．主催…… 1
2．共催…… 1
3．主管…… 1
4．後援…… 1
5．目的…… 1
6．日程/会場 …… 1
7．大会組織…… 2
8．参加資格…… 2
9．参加チーム…… 2
10. 競技方法…… 2
11. 参加費…… 2
12. 各表彰…… 3
13. 新型コロナウイルス感染症拡大防止…… 3
14. 承諾書…… 3
15. 障害者対応について…… 3
16. その他…… 3

●実施規約…… 4
1．出場チームの構成について…… 4
2．選手登録の方法…… 4
3．選手の交替・入替え…… 4
4．シンビン・退場（競技規則第10条等参照）…… 4
5．試合前受付…… 4
6．競技時・ハーフタイム時の諸注意…… 4
7．安全対策、脳震盪の報告義務、その他…… 5
8．負傷時の対応について…… 5
9．救急車の要請について…… 5
10. 規定のチーム構成人数未満による試合…… 5
11. ドレスチェックについて…… 5
12. 服装の統一について…… 5
13. プレーヤーの着こなし…… 5
14. ラグビーマナー…… 6
15. セーフティアシスタント（SA）について …… 6

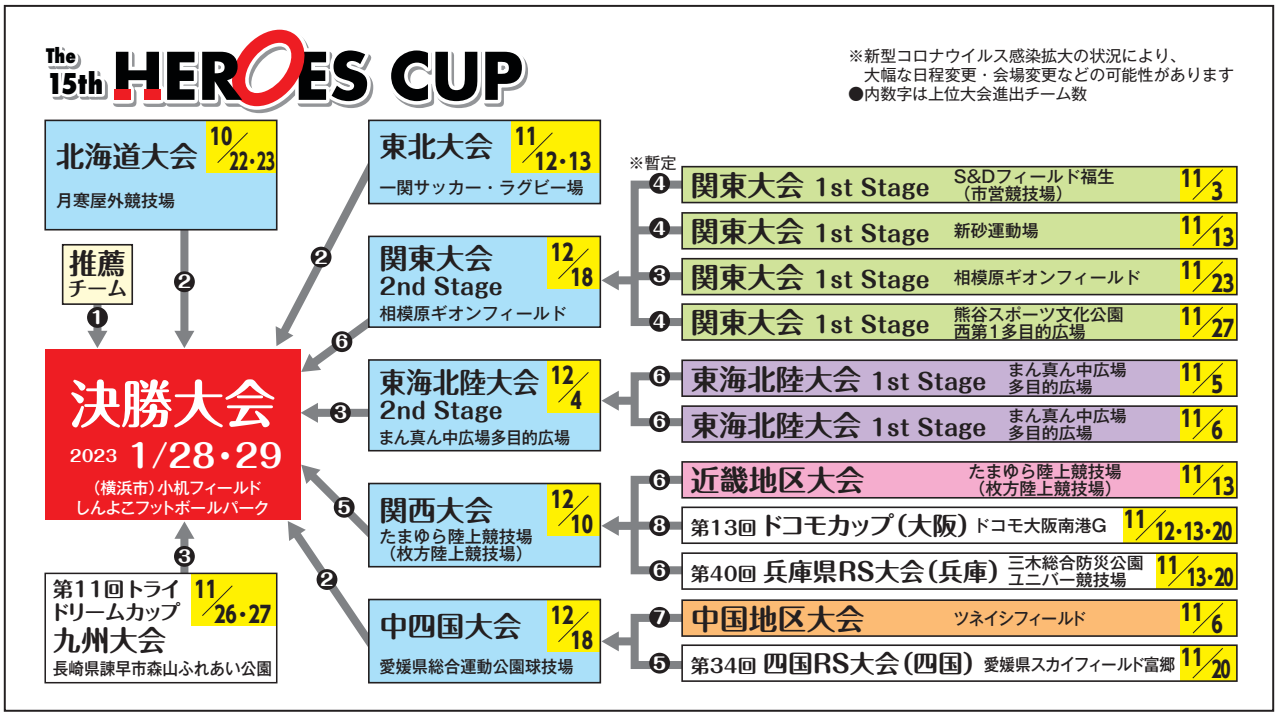
●安全対策規程…… 7
1．安全対策に必要な人員
2．試合環境の整備
3．参加チームの安全対策について
4．レフリー
5．新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応

＜レフリングの指針＞…… 8
1．安全を最優先
2．厳格な判定
3．コンテストの正確な判定

＜レフリングガイドライン＞…… 8
1．危険なプレーについて（安全のために）
2．キックオフ
3．スクラム
4．ラインアウト
5．ペナルティキック
6．キック

＜試験的実施ルールの正式競技規則化について＞…… 9

●個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて……10



1．主　　催　NPO法人ヒーローズ

2．共　　催　（決勝大会）横浜市・神奈川県

3．主　　管　ヒーローズカップ実行委員会

4．後　　援　スポーツ庁

5．目　　的　「こども世代へのラグビー普及と育成」を基本理念とし、ミニ・ラグビーの全国規模の交流試合を行い、ラグビーの試合を通じて健全な精神と身体を養うことを目的とします。参加する全ての子どもたちに、夢と希望と感動を与えられる大会を目指しています。

6．日程/会場

北海道大会	2022年10月22日・23日	月寒屋外競技場
東北大会	2022年11月12日・13日	一関サッカー・ラグビー場
関東大会（1st Stage）	2022年11月３日	S&Dフィールド福生（市営競技場）
	2022年11月13日	新砂運動場
	2022年11月23日	相模原ギオンフィールド
	2022年11月27日	熊谷スポーツ文化公園 西第1多目的広場
関東大会（2nd Stage）	2022年12月18日	相模原ギオンフィールド
東海北陸大会（1st Stage）	2022年11月５日	まん真ん中広場多目的広場
	2022年11月６日	まん真ん中広場多目的広場
東海北陸大会（2nd Stage）	2022年12月４日	まん真ん中広場多目的広場
近畿地区大会	2022年11月13日	たまゆら陸上競技場（枚方陸上競技場）
関西大会	2022年12月10日	たまゆら陸上競技場（枚方陸上競技場）
中国地区大会	2022年11月６日	ツネイシフィールド
中四国大会	2022年12月18日	愛媛県総合運動公園球技場
決勝大会	2023年１月28日・29日	小机フィールド・しんよこフットボールパーク

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況・または諸般の事情により、上記の日程及び会場、大会自体の大幅変更・延期または、中止の可能性があります。最新の日程・会場はホームページに掲載いたします。

7．大会組織
⑴　本大会の開催に際しては、大会実行委員会を組織する。
⑵　大会実行委員会には、委員長、副委員長、委員を任命する。
⑶　各大会毎に運営委員会を組織する。
⑷　これらの組織をもって、円滑な大会運営を図ることとする。

8．参加資格　次の⑴～⑶に該当する者からなるチーム
⑴　公益財団法人日本ラグビーフットボール協会に2022年度のチーム登録が完了した各都道府県ラグビーフットボール協会所属のラグビースクールにおいて「プレーヤー」として2022年度の個人登録が完了した小学校６年生および５年生。
⑵　保護者が大会への参加を承諾した選手であること。また、大会参加にあたっては指導員等の引率者を必要とする。
⑶　出場チームから公益財団法人スポーツ安全協会の「2022年度スポーツ安全保険」への加入が完了した者。

9．参加チーム
⑴　１スクール１チームとする。
⑵　合同チームのエントリーを可能とする。
⑶　北海道大会は北海道のチーム。
東北大会は東北地方のチーム。
関東大会は関東地方および近隣（静岡県を含む場合がある）のチーム。
東海北陸大会は、東海北陸地方および近隣（長野県を含む場合がある）のチーム。
近畿地区大会は、大阪・兵庫を除く近畿地方のチーム。
関西大会は、大阪推薦８チーム・兵庫推薦６チーム・近畿地区大会から６チームの計20チームで行う。

※関西大会には、大阪府からはドコモカップの上位８チーム。兵庫県からは兵庫県ラグビースクール大会の上位６チームをそれぞれ推薦する。
中国地区大会は中国地方のチーム。
中四国大会は、中国地区大会から７チーム・四国推薦５チームの計12チームで行う。
※四国からは四国ラグビースクール大会の上位５チームを推薦する。
決勝大会は、北海道大会２チーム、東北大会２チーム、関東大会６チーム、東海北陸大会３チーム、関西大会５チーム、中四国大会２チーム、九州推薦３チーム、主催者推薦枠１チームの計24チームで行う。

10. 競技方法 ⑴ 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の『令和４年改訂版 U-12 ミニラグビー競技規則』による。
⑵ 組み合わせは各大会毎に抽選にて決定する。
⑶ 試合時間は、各大会毎に異なるが、１日２～４ゲームを行い、１日の総ゲーム時間は60分を超えないものとする。

11. 参 加 費 参加チームから大会運営費の一部として、全ての大会毎（1st・2nd Stage毎）に10,000円を徴収。
（例：東海北陸大会1st→2nd→決勝大会へ参加の場合は合計30,000円となる）
※決勝大会を含む全ての大会に参加する遠征費・交通費は各チームでの負担とする。
決勝大会への遠征費補助については、補助がない可能性があることをご承知おきください。

12. スポーツ庁長官賞 決勝大会優勝チームへスポーツ庁より『スポーツ庁長官賞』を贈呈する。
横浜市長賞 決勝大会優勝チームへ横浜市より『横浜市長賞』を贈呈する。

13. 新型コロナウイルス感染症拡大防止
日本ラグビーフットボール協会の定める段階復帰プログラム則り、選手の安全を確保した前提で大会申込を行うこと。
参加する全選手・指導員・保護者・大会関係者は、別途ヒーローズカップで定めた［新型コロナウイルスに対しての対策について］の対策遵守・協力を行うこと。遵守頂けない場合は、大会参加者の安全を守る為、大会参加を認めない、または会場より退去を要請する場合があります。

14. 承 諾 書 各大会は大会規定の【新型コロナウイルスへの対策について】を基準として大会運営を行います。また、ヒーローズカップは、ラグビーの試合を通じて健全な精神と身体を養い、中学・高校・大学とラグビーを生涯スポーツとして続くことを目的としており、下記の事項を承諾頂き、署名・捺印の承諾書提出が必要です。
１．選手自らが大会参加を望んでいること。
２．チームや仲間の為などとして指導者及び保護者が参加を強く求めないこと。
３．怪我をしている、又は、マッチドクターに競技続行不可能と判断された場合、当該選手は当日の試合には出場することができない。
４．選手が過度な体重増減量や過密な練習で疲労が蓄積していない状態であること。
５．選手として心身共に大会に参加できる万全の状態であることを確認し、保護者として承諾できる場合には、承諾書を提出する。

15. 障害者の試合観覧および対応について
障害者が大会に来場された際には障害者用の観覧スペースを設ける。
補助、介助が必要な場合は障害の程度に応じて人員を配置する。

16. そ の 他 各大会毎にマッチドクターを配置する。負傷に対して応急処置は行うが、大会主催者が以降の責任は負わない。マッチドクターに競技続行不可能と判断された場合、当該選手は当日の試合には出場することができない。
選手の健康管理には十分注意すること。選手は健康保険証を持参すること。

第15回 ヒーローズカップ 実施規約

1．出場チームの構成について

各大会（地区大会、決勝大会）出場に必要な選手以外のスタッフについては下記の通りとする。

（1）大会に出場するチームのベンチ入りできるスタッフの構成は、以下の通りとする。

①試合責任者（必須）　1名　〈試合出場チームの責任者〉

②セーフティアシスタント（必須）　1名　〈セーフティアシスタント（SA）資格保有者〉

③監督・コーチ（任意）　任意　〈グラウンド（ベンチ）へ入る最大人数は各大会で規定する〉

※①、②、③のいずれかにスタートコーチ以上の指導者を大会に帯同させなければならない。

※大会当日にスタートコーチ以上の指導者・セーフティアシスタントが帯同できない場合その旨を大会本部に伝えること。

（2）参加チームから運営スタッフを選出する場合は下記の条件を満たすこと。

①レフリー（随時）　1名　〈ミニラグビーレフリー（MRR）以上〉

②アシスタントレフリー（随時）　1名　〈ミニラグビーレフリー（MRR）以上〉

③競技補助役員（随時）　任意　〈競技委員の補助業務（第３AR、記録、ボールボーイ等）〉

2．選手登録の方法

（1）各大会への出場選手登録は、「第15回ヒーローズカップ開催要綱」の「８．参加資格」の（1），（2），（3）の要件を満たす者の中から人数制限なく登録できる。

（2）ヒーローズカップへの出場推薦チームを選考する大会を含む各大会において、チームの移籍をして第15回大会の次の大会へ出場することは認めない。選手は、ヒーローズカップへの出場推薦チームを選考する大会を含むどれかの大会で、最初に出場登録をしたチームで最後まで出場登録することとする。

（3）上記選手登録に疑義が生じた場合、大会実行委員会にて出場を取り消す場合がある。違反して選手登録又は出場をした場合、次回から当該チームの参加を認めないことがある。

3．選手の交替・入替え

（1）選手の交替・入替えの際には、監督・コーチ又は選手自身が当該試合担当の第3ARに申し出、第3ARの指示に従って交替・入替えを行う。

（2）一度の交替・入替えは３名までとする。但し後半開始時は交代・入替え人数の制限はなく、第3ARへの申し出も不要。

（3）いったん交替により退いた選手の再出場も認める。

4．シンビン・退場（競技規則第10条等参照）

（1）シンビン（一時的退出）となったプレーヤーは、本部席前の所定の場所に待機しなければならず、レフリーが許可するまで、フィールド・オブ・プレーに入ってはならない。

（2）シンビンの時間は試合時間により異なり、ハーフタイムの時間は含まれない。シンビンの時間は次のプレーが再開した時点から計測し、第３AR及び本部席で時間の管理を行う。

※15分～13分ハーフ＝４分・13分～９分ハーフ＝３分・８分～７分ハーフ＝２分（ストレートの場合も同様）

（3）同一試合で２回目のシンビンを受けた選手は、そのまま退場となりゲームに再出場することはできない。
また、各大会共通で次の１試合（上位大会含む）は自動的に出場停止となる。

（4）シンビンの累積による退場以外の事由（不行跡等）で退場となった選手は、各大会運営委員会で処分を決定する。
なお、各大会共通で次の１試合（上位大会含む）は出場停止となる。

5．試合前受付

（1）試合当日、各大会競技委員が指定する時間に試合責任者は代表者会議に出席し、出場選手およびスタッフに関して、事前登録通りであるかを報告すること。

（2）各大会運営委員会より当日必要な伝達を行うので、代理の者でなく必ず試合責任者本人が出席すること。

（3）代表者会議終了後、各大会のスケジュールにより、ドレスチェック・装身具のチェックをレフリーが行う。このドレスチェックを受けていない選手は試合に出場できない。

（4）チームからレフリー、アシスタントレフリー、競技補助役員を選出した場合、必ず大会当日のブリーフィングに参加し、レフリー委員、競技委員に申し出、当日の割当を確認すること。

6．競技時・ハーフタイム時の諸注意

（1）試合に使用するボール（４号球）は、大会本部にて用意する。

（2）試合時間はタイムキーパー制で行う。（キックオフ前半・後半の開始は、本部からのキックオフの合図後。ノーサイドは本部からの合図の後、デッドになった時点。ロスタイムなし。）
但し、負傷対応等で継続して３分を超える試合中断が発生した場合、競技委員のグランド責任者が、「レフリータイ

ム」の判断を行い、レフリーよりその旨を両チームキャプテンに伝達し、レフリーの責任で終了する。
（３）両チームのジャージが似ている場合は、競技委員とレフリーがチームと相談のうえ対応を決定。
（４）試合中は、チームは所定のベンチエリア内で待機する。試合中チーム関係者はうろうろしないこと。ゲームの進行とともに移動して応援をしたり、指示をしないこと。
（５）ベンチ内であってもチーム関係者は、試合中のプレーヤーに対する指示を禁止とし、適切な応援を心がけること。
（６）グラウンドへ水を持ち込む場合には安全な容器を用いること。（ビン等は不可）
（７）同点で試合終了になり、次戦進出チームを決定しないといけない場合は、抽選にて次戦進出チームを確定する。その際、アフターマッチファンクション終了後、抽選にはチームキャプテン１名、当該試合レフリー、大会実行委員の４者で公平に抽選を行う。（リーグ戦の場合は順位確定方法の全てが同ポイントであれば抽選を行う）
（８）試合終了後、アフターマッチファンクションを実施。
・キャプテンによる相手に対する感想、担当コーチからの講評、レフリーからの講評
・エール交換（新型コロナウイルス感染拡大の状況により各大会にて判断）
・握手（新型コロナウイルス感染拡大の状況により各大会にて判断）
・両チームが混ざり記念撮影を行う（新型コロナウイルス感染拡大の状況により各大会にて判断）

７．安全対策、脳震盪の報告義務、その他

（１）試合参加にあたっては、あらかじめ健康診断を受ける等、プレーヤーの健康管理に充分配慮すること。
（２）脳震盪を起こした疑いのある、あるいは脳震盪と診断された選手は退場させる。試合中に脳震盪で退場したプレーヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
（３）脳震盪を起こした疑いのある、または、脳震盪と診断された選手は、必ず“ワールドラグビー脳震盪ガイドライン”にある「段階的競技復帰プロトコル（GRTP)」に従って復帰すること。
（４）頭部打撲により、一時退場をしたプレーヤーは例え脳震盪・脳震盪疑いではないとドクターより判断されたとしても、安全を第一優先とする為、当該試合で再出場は認めない。しかし、マッチドクターにより脳震盪・脳震盪疑いではないと判断された場合は、次試合以降の試合には出場できる。
（７）インフエルエンザ又は新型コロナ等伝染性疾患と診断もしくは認められる選手は、各チームの責任において出場を辞退すること。
（８）試合中のドクターの投入はレフリーが判断するが、担架の使用についてはドクターの判断に従う。

８．負傷時の対応について

プレー中、選手が負傷した場合、レフリーは試合を中断し、ドクターを呼び、負傷状況を確認する。ドクターが試合続行を認めない場合は、レフリーは速やかに当該チームに選手交代を要請する。その際、自チームのセーフティアシスタントからの助言（例、まだやれます…等）は禁止とし、決してドクターの判断に異を唱えてはならない。
レフリーは、選手の安全のために、プレーの継続が不可と認めたプレーヤーの出場を制限することができる。

９．救急車の要請について

試合中の負傷により、救急車を要請する場合は、マッチドクターから大会役員を通じて要請するので、チーム関係者は、直接要請しない。
試合中以外で救急車要請する場合、必ず、大会本部を通じて要請すること。

10. 規定のチーム構成人数未満による試合

１チームにつき規定の人数（９名）より少ないプレーヤーによる試合は、試合途中において怪我や病気により出場選手が８名まで許可される。但し、試合開始時点では、９名の健康な選手を揃えなければならない。揃えられない場合は当該チームを不戦敗とする。その場合、他のチームから選手を借りて交流試合として試合を実施することができる。

11. ドレスチェックについて

（１）各大会の指定された時間にレフリーが参加選手全員のドレスチェックを行う。
（２）爪チェック・スパイクチェック・ヘッドキャップ/ゴーグルのワールドラグビーの承認マークの確認・サポーターの確認

12. 服装の統一について

（１）ジャージ・パンツ・ストッキングは、チーム全員統一されていることが基本ではあるが、コンバインドチームでの参加の場合、パンツ・ストッキングの統一までは求めない。
広告等が掲示されているジャージ・パンツ・ストッキングは認めない。
（２）スパイクについて／非金属製の固定式スタッド及びブレードタイプのものとし、取替え式スタッドの使用は禁止する。
（３）ジャージ、その他の用具に血液が付着した場合には、直ちに取り替えなければならない。ジャージの損傷、血液の

付着に対応するためスペアージャージを準備すること。

（4）プレーヤーは必ずヘッドギヤを着用すること。（U12 競技規則第４条３．c）

（5）プレーヤーに合ったマウスガードを装着することを強く推奨する。

（6）男女共ロングスパッツの着用を認める。但し華美なロングスパッツは避け、短パン同系色または白・黒・紺とする。

（7）指先を切った手袋のみ着用を許す。指先まで覆う手袋は着用できない。

（8）ワールドラグビーの承認マークが付いたゴーグルであれば着用を認める。

13. プレーヤーの着こなし

（1）参加選手はラグビープレーヤーとしてふさわしい服装、身だしなみを心がける。

（2）選手は以下の着こなしを遵守すること。レフリーや競技委員から指摘される前に、各自、各チームで正すこと。

①ストッキングはきちんと上げる。試合中にずり落ちないようテープ等できちんと止めること。

②パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。

③ジャージのエリを内側に折り込まない。

④ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。

（3）ドレスチェック時に、レフリー及び競技委員が服装、スタッド等の確認を行う。選手は、レフリーと競技委員の指示に従うこと。

（4）ドレスチェックで不許可となったものを競技区域で着用していた場合には、その時点で「競技規則」第４条７により退場とするが、交代選手の出場を許可する。退場した選手は、服装を正したら、レフリーの許可を得て競技に復帰できるものとする。

（5）服装規定に関して不明な点は事前に各大会運営委員会まで問い合わせをする等、当日のドレスチェックの際にトラブルが起こらないよう、事前徹底、再確認を充分しておくこと。

14. ラグビーマナー

（1）レフリーへの批判、選手への感情的発言・暴言・セルフジャッジ等々非紳士的言動は厳禁する。

選手以外の監督・コーチ・その他スタッフ、保護者、応援団も同様に禁ずる。

試合中は、建設的な応援・励ましを心がけ、レフリー・両チームの選手への敬意と尊敬の念を忘れないこと。

試合中において、コーチ、保護者、観戦者からプレー中の選手への指示は、一切禁止とする。

（2）各大会の会場（グラウンド内、更衣室とグラウンドとの往復等を含む）では、選手、指導者、スタッフ、保護者等全員が公共空間でのマナー保持に充分注意すること。

（3）ゴミ（グラウンド内ばかりでなく更衣室等のゴミも含む）は、会場内のゴミ箱に捨てず、必ず各自、各チームで持ち帰ること。チームはゴミ袋を用意して、すべてのゴミを持ち帰ること。

（4）会場内は、グラウンド、更衣室等、駐車場、その周辺区域を含めて、許可された喫煙場所がある場合を除いて全面禁煙とする。

（5）会場周辺の公道への違法駐車は厳禁する。

（6）チームごとに試合のライブ配信をする場合は定められた場所で行うこと。

15. セーフティアシスタント（SA）について

（1）SAは、試合前にレフリー及び、マッチドクターと互いに確認を行い、試合中の連携を心がける。

（2）SAは、自チームだけでなく相手チームの負傷者にも対応する。相手チームSAとそれぞれ別のサイドに待機するのが望ましい。

（3）SAは、必要に応じて試合中にグラウンドへ自由に入ることができる。

声援やプレーの指示は絶対に行わない。（選手の安全確保を考慮した指示を除く）

（4）SAは、各大会の競技委員の指示に従って、ビブス等、他のスタッフと区別できる服装を着用する。

（5）原則としてSAは、自チーム帯同のSAが必要だが、どうしても困難な場合、事務局（大会開催まで）、大会本部（大会当日）へ事前に相談すること。

（6）各大会によりSA会議を当日設ける場合は、SAは必ず出席すること。

（7）試合中SAはベンチでの観戦はなるべくさけ、負傷者への対応を最優先に行う。

第15回 ヒーローズカップ 安全対策規程

ヒーローズカップでは、安全を最優先とします。積極的に安全対策を行うことによって、危険の予知と予防、万が一の事故の際に適切な処置を出来る様にするため、各大会に関する安全対策規程を下記の通り定めることとします。

1．安全対策に必要な人員

（1）安全に試合を進行し、負傷や事故にすぐに対応できるように、下記の通りの安全スタッフを配置すること。

① マッチドクター

競技場の隣接する２グラウンドに対して、１名以上配置する。

協会登録の医務委員またはセーフティアシスタント（SA）資格保有者が望ましい。

実行委員会によりマッチドクターの補助として、柔道整復師、トレーナーなどの資格者を配置することがある。

② セーフティアシスタント（SA）

各試合各チームから１名、セーフティアシスタント（SA）資格保有者を選出する。

③ 競技委員

各試合に１名以上。安全なゲーム進行を見守る。

2．試合環境の整備

（1）水源の確認（水道水および飲料水のチェック）。

（2）氷の準備。

（3）救急バッグの準備。

マッチドクターと事前に確認を取り、運営側で準備をする。

〈内容物の目安〉テーピング用テープ、三角巾（４枚以上）、はさみ（２本以上）、体温計（２本以上）、綿花、単ガーゼ、消毒セット（ディスポ10本以上）、絆創膏、包帯、バンドエイド、コールドスプレー、ネット、弾力包帯、担架 etc

（4）ドクター待機場所の準備

医務室のない会場では、医務テントの設置が望ましい。

救急バッグ・水・氷・AED（リースも可）を設置。

（5）救急受け入れ医療機関の事前確認

当日、大会が行われることを付近の医療機関に事前連絡をして、救急受け入れ先を確認しておく。

（6）グラウンドの準備

複数グラウンドで同時に行う時は、競技区域の間隔を充分空ける。（タッチラインの共有はしない）

必ず試合前に、グラウンドおよび周辺を競技委員その他スタッフでチェックする。

3．参加チームの安全対策について

（1）各チームに安全対策委員（安全推進講習会受講者または、セーフティアシスタント（SA）資格保有者または、試合責任者）を選出し、チームの安全対策を実施すること。

（2）セルフチェックシートの利用や、健康診断の実施等、選手の体調管理を普段から行い、試合当日は保護者から選手の健康状態をヒヤリングして、選手の健康状態を充分に把握しておくこと。

（3）体調に異常所見が認められる選手、体調不良の選手を出場させない。

（4）安全第一で正しい指導を心がけること。危険なプレーにつながる言動を行わないこと。

（5）ラグビーに適した服装で試合に参加し、爪のチェックを行う。

（6）試合後および試合の合間は、防寒具等を着用し体を冷やさないようにする。

（7）ウォームアップ・クールダウンを充分に行わせ、障害の予防をする。

（8）安全プレーを推進し、タックルの基本姿勢、ラック・モールの姿勢を、充分に指導しておく。

4．レフリー

（1）安全なレフリングを最重要とし、危険な反則に対しては特に厳しく対処する。

（2）積極的にプリベントコールを行い、反則と危険を未然に防ぐ。

（3）コンタクトプレーにおいてバインドをするように指導する。ノーバインドによるコンタクトに対しては、事前に声をかけて予防し、もし発生したら単に反則を取るだけでなく、事後によく注意する。

（4）体調不良、怪我等で継続不可と判断する選手には、プレーを続行させない。

5．新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応

（1）大会に参加する選手・指導者・保護者・運営スタッフ・レフリーに別紙【新型コロナウイルスへの対策について】の遵守の徹底をする。

＜レフリングの指針＞

１．安全を最優先
スキルレベルが向上し、最新のスキルをコーチングされたプレーヤーが増えてきたとしても、小学生の大会として最重要である「安全性」を重視する。危険なプレーや危険な結果が予想されるプレーに対しては、トップレベルで容認されているプレーであっても、レフリーは笛を吹いてプレーを止め、ペナルティの判定またはイエローカード以上の対処をする。体格差が原因で危険な状態になる、または予想される場合も、「安全性」を最重要と考え、レフリングを実践する。

２．厳格な判定
意図的に反則をし、ゲームを有利に進めて勝ちにつなげる行為は、小学生の大会ではあってはならないと考える。意図的な反則、反則の繰り返しに対してレフリーは厳しく判定し対処する。また、レフリーに対する暴言についても、プレーヤーだけでなく競技規則第10条８にもある通り、コーチやチーム関係者についても同様に厳しく対処する。

３．コンテストの正確な判定
安全を最優先し、不行跡・不当なプレー・意図的な反則を厳格に判定し、コンテストの正当性を追求していく。
安全とコンテストプレーのバランスを保ちながら判断、判定を正確に行い、楽しくプレーが継続できるようにレフリングを行う。

＜レフリングガイドライン＞

競技規則は、平成30年改訂版 U-12 ミニラグビー競技規則に準じる。

１．危険なプレーについて（安全のために）
安全を最優先したゲームコントロールを行う。
① いわゆる「亀ラック」＝スクイーズボール（U19.第15条15.5）→ 直ちにペナライズした上で注意をする
② ローヘッド（U19.第10条10.4 (t)）→ 直ちにペナライズした上で注意をする
③ 危険なプレー（第9条11-25）→ 直ちにペナライズした上で注意をする

２．キックオフ
正しいキックオフの遂行と、プレーが止まったときに素早い判定を行う。
① キックオフしたボールが５ｍを越えない → センタースクラム
② キックオフしたボールが直接タッチに出る → センタースクラム（ラインアウトのオプション有り）
③ ドロップキックで正しく蹴らなかった → やり直し → 状況に応じてセンタースクラム（フルラグビーのルールを基に）

３．スクラム
正しいスクラムの遂行と、スクラム解消時の正確な判定を行う。
① オフサイドの解消 → ハーフバックが手または足でボールに触れたとき
（ハーフバックが足を使って、投げやすい位置に動かすことも触れたと見なす）
② ハーフバックがボールに触る前に、攻撃側がオフサイドラインを越えて走り込みボールをもらう
→ オフサイドのペナルティを正しく判定
③ ゴールから５ｍ未満では形成されない（ラインアウト・ペナルティも同様）
④ スクラムが終了するまでバインドさせる。（第20条20.1 (f)）
→ 注意してもバインドを外して飛び出したらペナルティ（第20条20.1 (a) を適用）
⑤ ボールインの確認・徹底 → 転がして入れるように指導
⑥ スクラムのフットポジションは平行であること → 平行にとるように指導
⑦ スクラムのレフリーのコーリングは「クラウチ、タッチ、ホールド、エンゲージ」の４段階であること

４．ラインアウト
正しいラインアウトの遂行と、ラインアウト解消時の正確な判定を行う。
① クィックスローは認めない
② バックスのオフサイド解消 → ラインアウトが解消（終了）したとき
③ ８ｍを越えて投げ入れる（ラインアウトに並んでいるプレーヤーが誰も触れていない場合）→ やり直し
④ 先頭に立つプレーヤーが、ボールが３ｍ投げ入れられることを妨げる → ８ｍでフリーキック
⑤ ハーフバックがキャッチせずにワンバウンドになった場合 → ハーフバックが触れた時点で解消
⑥ ワンバウンドのボールをラインアウトプレーヤーが触れたとき → その時点で解消
⑦ タップしたボールがラインオブタッチから５ｍを越えたとき → その時点で解消
⑧ ハーフバックとラインアウトプレーヤーがポジションチェンジするのは可能。
ただし、スロワーがボールを投げ入れ、ラインアウトが開始されるときには、二人並んでいること。

５．ペナルティキック
クィック時に特に注意して、正しいペナルティキックを遂行する。
① ボールを地面に置かないで蹴る → やり直し
② キックは明確に → いずれかの方向に蹴り進めること
③ 勢いよく走り込んでボールをもらうプレー → PKだがキックしてからスタートするように注意
④ ノット５ｍの２度目は、間をおいてポイントを示し５ｍを取らせてからプレーさせる

６．キック
一般のプレー中のキックに対し、正しい判定を行う。
① 地上にあるイーブンボールを意図なく蹴る行為（いわゆる「フライキック」U12競技規則第9条20（h））→ ペナルティ
② ダイレクトタッチ → 10mラインの外側から蹴った場合は、蹴った地点でスクラム。（U12競技規則第18条）
③ テイクインバックの適用 → あり（シニアと同じルール）蹴った地点でスクラム。
④ ハーフタイムやフルタイムで外へ蹴り出す → OK

＜試験的実施ルールの正式競技規則化について＞

世界的試験実施ルールについてワールドラグビー理事会にて、競技規則の条文改正され正式に競技規則化となりました。以下は試験的実施ルールの原文を示します。［〇印文章］
ヒーローズカップでは昨年度より試験的実施ルールを採用しておりますが、今年度の15回大会から競技規則とすることといたします。（　　）内はミニにおきかえたもの　●は加筆注釈

〇50：22
ボールを保持しているチームが自陣の内側からボールを蹴って相手側の22メートルラインより内側で間接的にタッチになった場合、その後のラインアウトではそのチームがボールを投入する。50：22を行うために、ボールを防御側の陣内にパスバック、またはキャリーバックすることはできず、防御側の陣内からフェーズが始まらなければならない。（ゴールラインと10mの間でタッチに出た場合）

〇ゴールラインドロップアウト
インゴールにおいてボールがヘルドアップとなった場合、インゴールにいる攻撃側のプレーヤーによるノックコンがあった、または、攻撃側のキックをディフェンダーが自陣のインゴール内でグラウンディングしたこととなり、ゴールラインに沿った任意の地点からのゴールラインドロップアウトでプレーを再開する。

●キックは５m飛ばなければならない。
→達しない場合はキックした地点での５mスクラムかキックのやり直し
●キックが直接タッチに出た場合はキックした地点での５mスクラム、５mラインアウト、キックのやり直しの選択となる。
●相手チームはゴールラインから５m以内に位置することはできない。

〇フライングウエッジ
フライングウエッジの定義を見直し、３名があらかじめバインドしているミニスクラムに対して制裁を科す。

●PKとなる。コールは「フライングウエッジ」

〇単独のプレーヤーによるラッチング
コンタクトの前に１名だけプレラッチングをすることを認めるが、そのプレーヤーはファーストアライビングプレーヤーの要件のすべて（特に立ったままでいること）に従わなければならない。

●ラッチングとはバインドしていること。プレラッチングとは相手とコンタクトする前にあらかじめラッチングすること。
●手で押す、つかむことはラッチングにならない。ラッチングして進むときにはボールキャリアーが先頭であること。反すればPK　コールは「オブストラクション」
●ラッチングしていたプレーヤーがオーバーザトップ、シーリング（倒れてボールをふさいでしまう）にならないようにすること。反すればPK　コールは「オーバーザトップ」「シーリング」

〇クリーンアウト/ジャッカラーの安全
下肢を狙った、または、下肢に衝撃を与えるようなクリーンアウトに制裁を科す。

●PK　コールは「危険なプレー」

画像をワールドラグビーHPで確認してください。
https://www.world.rugby/the-game/laws/global-law-trials

第15回ヒーローズカップに関する
個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

NPO法人ヒーローズ

特定非営利法人ヒーローズ（以下「NPO法人ヒーローズ」という。）は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下の通り対応します。

1　参加申込書に記載された個人情報の取扱い

⑴大会プログラムに掲載することがあります。

⑵競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。

⑶氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期すため、大会開催前に報道機関に提供することがあります。

⑷大会スポンサーに対して、提供することがあります。

2　競技結果（記録）等の取扱い

⑴NPO法人ヒーローズ、又はこれらに認められた報道機関、大会スポンサー等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。

⑵競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

⑶組合せ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがあります。

⑷大会プログラム掲載の個人情報とともに、ヒーローズが作成する大会報告書（以下「報告書」という。）に掲載されることがあります。

⑸記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3　肖像権に関する取扱い

⑴NPO法人ヒーローズに認められた報道機関や大会スポンサー等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページや、TVCM等で公開されることがあります。

⑵NPO法人ヒーローズに認められた報道機関や大会スポンサー等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。

⑶この他、NPO法人ヒーローズに許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

4　NPO法人ヒーローズの対応

⑴取得した個人情報を前記利用目的以外に使用することはありません。

⑵**参加申込書の提出により、前記取扱いに関する御承諾をいただいたもの**として対応させていただきます。

⑶大会役員、競技委員、運営委員、その他各種委員や補助員、ヒーローズカップに関する契約をしている者、大会運営関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、前記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

新型コロナウイルスへの対策について

第15回ヒーローズカップの新型コロナウイルスへの対策・お願い

スポーツ庁の定める『スポーツイベント開催・実施の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』に基づき、下記の通りヒーローズカップでのガイドラインを作成致しました。

記

①健康管理確認表 兼 参加承諾書の実施要請

全ての大会参加者は、健康管理確認表 兼 参加承諾書を**当日朝の受付に提出**を義務付け致します。

※２週間前からの体温チェック、当日の朝の検温結果及び体調の確認（風邪の症状・だるさ、息苦しさ・嗅覚、味覚異常等）、陽性者との濃厚接触の有無、同居家族等に感染が疑われる有無、過去14日以内に観察期間を必要とされている国・地域等への渡航の有無などのチェック項目。

※参加する全ての選手は、保護者よりヒーローズカップ参加承諾書が必要となります。

大会２週間前より**37.5℃以上の発熱（※⑰追記事項有）**及びチェック項目に**１つでも該当する方は会場への入場を禁止**と致します。

但し、**37.5℃以上の発熱**があった場合でも、**PCR検査又は抗原検査で陰性が確認**された場合は、参加を許可致します。PCR検査又は抗原検査の費用は各自でご負担頂き、陰性を証明するコピーや画像などの提示を求める場合があります。

②大会当日、会場での検温チェックを行います

検温チェックを済んだ人には検温済みの**リストバンド**を選手以外の全ての方が対象で配付し、大会会場内でのリストバンド装着を義務付け致します。

検温チェックで**37.5℃以上**の方は会場への立ち入りを禁止させて頂きます。

③大会会場内での**不織布マスク着用**及び大会への往復行程時の**不織布マスク着用**

選手の試合中及び練習時以外は、選手・指導員・保護者・兄弟姉妹・大会運営スタッフなど**全ての人の不織布マスク着用**をお願いします。

会場への行程は、なるべく家族以外の乗り合わせはご遠慮頂き、家族以外の乗り合わせの車の場合は、道中の**不織布マスク着用**及び車内での換気の徹底をお願い致します。会場によっては十分な駐車スペースがない場合がありますが、感染予防の観点からご協力お願い致します。

チームオリジナルを作成されたり、お気に入りのマスクがあるかと思いますが、布製やウレタン製のマスクを着用している人は、不織布マスクに比べて吐き出し・吸い込み飛沫量が半分以下の効果であると研究結果が発表されている観点から、大会期間中（行き帰りを含む）は**不織布マスクに限定**とさせて頂きます。

オリジナルマスクなどをされたいという場合は、オリジナルマスクの下に必ず不織布マスクの着用をお願い致します。

※当日の気温により二重マスクをされる場合は特に熱中症などの対策を行ってください。

不織布マスクは予備を持参し、使用しないときにはビニール袋に入れるなど、衛生管理をするようにして

ください。
現在不織布マスクは容易に安価で手に入りますので、チーム単位で購入して頂き、選手がアップ・試合の際は使い捨てで常に新しい不織布マスクを身につけるように心掛けて頂きたいです。

④アルコール消毒液の設置
会場入口及びグラウンド周辺を確認した上でわかりやすい場所に設置場所を検討し、**アルコール消毒液を設置**致します。設置場所を通過する毎に必ずアルコール消毒にご協力ください。

⑤消毒・手洗いの励行
消毒液の設置場所・手洗い場所へ一度に何チームも集中すると、非常に混雑が予想されます。
密にならないよう分散を心掛け、**個人やチームで持参の消毒液などの積極的な活用**をお願い致します。

⑥大きな声での会話・声援禁止
指導者・控え選手のベンチ及び観戦の際はソーシャルディスタンスを保ちつつ、**大きな声を上げての声援は禁止**とさせて頂きます。応援は声を上げずに拍手を推奨いたします。

⑦密になるエリアの対応
試合結果ボードの掲示は行いますが、密にならないようそれぞれが注意し、**試合結果はSNS上で確認**できるように対応します。
チーム記念撮影の際はマスク着用で整列し、撮影の時にマスクをはずし、会話はなしで撮影を行います。
アフターマッチファンクションの方法・場所等は各大会での対策に準じて頂くことになります。
開会式・閉会式の開催は各運営委員会の判断により、簡素化・行わないこともございます。
会場によっては観客席や待機場所で密集になる可能性がある場合は、不便をお掛けする可能性もありますが、**各運営委員会が判断する密集対策を当日でも変更し、参加される皆さんにご協力を頂く**こともご承知ください。

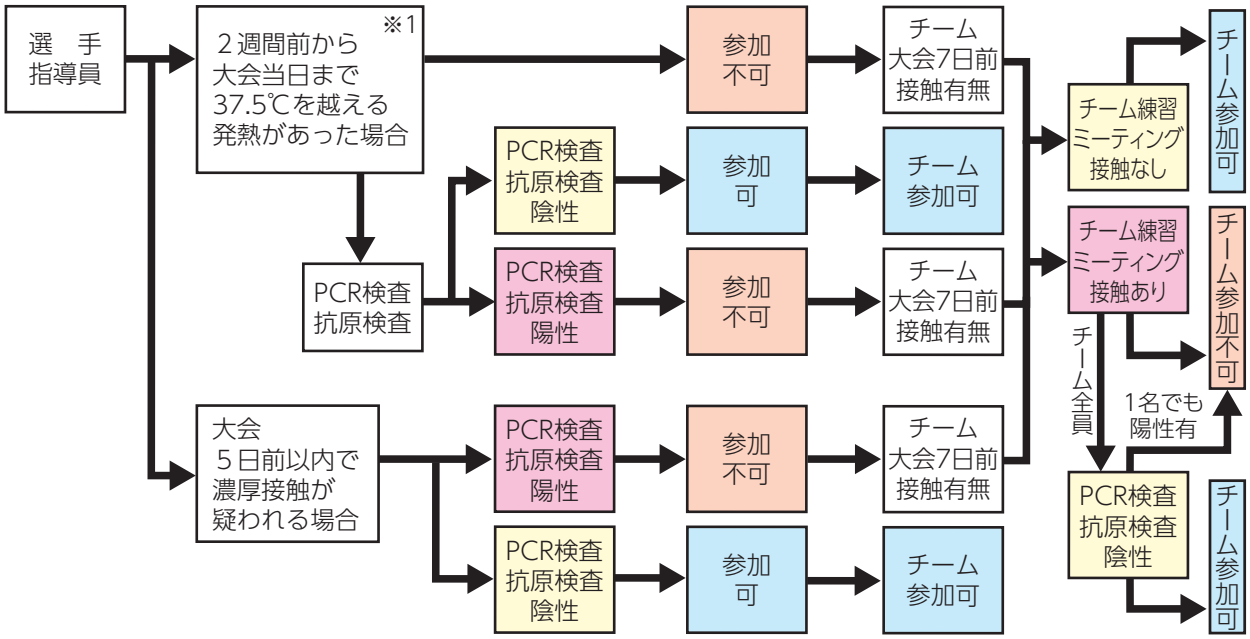
⑧体調不良者へ大会会場より退場を要請致します。
チーム関係者の中に体調不良の方がおられましたら、運営本部にご連絡をお願い致します。会場内で対応は不可能であると思われますので、大変恐縮ではございますが、医療機関への受診またはホテル自宅での待機を要請させて頂くことになります。ご理解の程、宜しくお願い致します。

⑨宿泊及び前泊をしての参加する場合
ホテルの部屋やミーティング時、食事など複数人が同じ空間にいる状況では特に注意し、換気及びマスク着用などの対策をしっかりとお願い致します。
部屋で発熱者が出た場合は、同部屋の人も濃厚接触者として扱い、PCR検査又は抗原検査を行わない限り大会に参加ができません。チームで抗原検査を準備するなど対応をお願い致します。
尚、PCR検査又は抗原検査ができない場合は、発熱＝コロナ罹患と考えますので、チーム全体が大会不参加となる可能性がありますのでご注意ください。

⑩最新情報を常にホームページで掲載

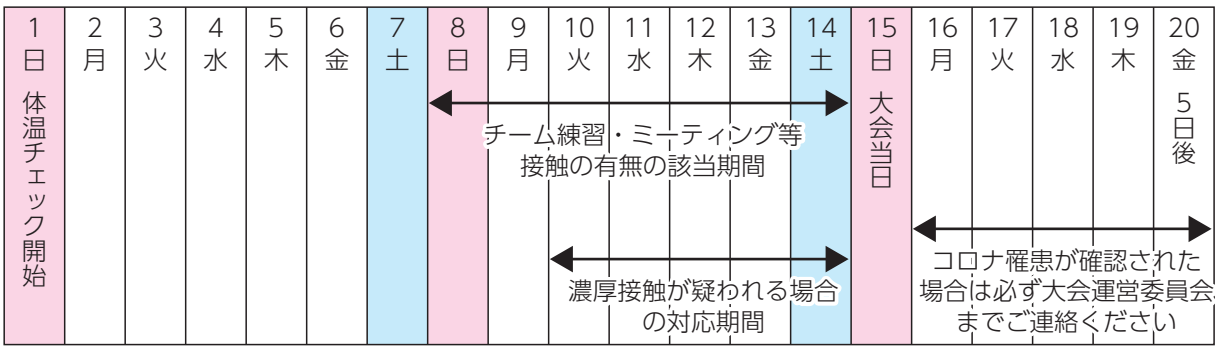
新型コロナウイルスに対しての対策については、状況が刻一刻と変化すると考えられる為、**変更した最新の対策についてホームページで発信**を致します。更新情報については各大会事務局より都度都度のご案内ができませんので、恐れ入りますが各自ご確認お願い致します。

⑪２週間前～大会当日までに感染症発症または濃厚接触・PCR検査結果待ちなどの状況について



※1　期間中、1度でも発熱した場合、発熱して体温が下がった場合も含みます。
　　インフルエンザ・風邪・胃腸炎などの発熱であったと診断されたとしても該当します。

PCR検査の結果待ち等の状態、保健所からの指示待ちの状態での当該選手又は当該指導員の大会参加は認められません。PCR検査又は抗原検査の費用は各自でご負担頂き、陰性であることのわかるものをご提示頂く場合があります。※陰性証明のコピー・陰性であるとわかる撮影画像など



新型コロナウイルス陽性隔離期間10日を過ぎての大会参加は可能であると考えられますが、隔離期間の体力の消耗など、選手の安全を考慮し、大会２週間前に陽性隔離期間10日が解除されていない場合、選手としては参加ができないことと致します。その場合、応援者として保護者と共に観客席での応援のみとし、チームのアップなどにも参加をすることはできません。
※コロナ陽性は発熱した日を基準とします。（無症状の場合は陽性確認日）

⑫２日以上の大会によるコロナ陽性が判明した場合の対戦チームについて

大会途中にコロナ陽性が判明した場合、陽性者（試合出場）が対戦したチームには遅滞なくその旨を報告し、その後の試合出場はチーム判断とする。

⑬代表者会議（事前）
代表者会議及び組み合わせ抽選はなるべく**ZOOM会議**で行い、資料は事前に配信し、必要部数を各自でプリントお願い致します。

⑭新型コロナウイルス感染症を発症した場合
大会終了後５日以内に新型コロナウイルス感染症を**発症した場合は、各運営委員会に対して速やかに報告**し、大会当日の濃厚接触者の有無等についても報告すること。
必要に応じて対戦チームなどに報告致します。また、チーム代表者は日本ラグビーフットボール協会のガイドラインに則り、**都道府県協会の安全推進委員会へご報告**をお願いします。

⑮健康管理確認表 兼 参加承諾書の取扱いについて
提出頂きました健康管理確認表 兼 参加承諾書は、大会終了後２週間は大会運営委員会が保管し、大会参加者より新型コロナウイルス感染症に罹患したとの報告がない限りは、シュレッダー廃棄を行います。

⑯コロナの感染状況による大会開催について
開催自治体の状況によりヒーローズカップ実行委員会にて開催の判断を行います。
状況によっては、無観客での開催、開催中止という判断をする場合があります。

⑰大会２週間前より**37.5℃以上の発熱**に関しての追記事項
ワクチン接種による副作用の場合は例外と致します。
［参考：厚生労働省HP より https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0006.html ］
ワクチンによる発熱か、新型コロナウイルス感染症かを見分けるには、発熱以外に、最近、咳や咽頭痛、鼻水、味覚・嗅覚の消失、息切れ等の症状が始まっていないかどうかが、手がかりとなります。
（ワクチンによる発熱では、通常、これらの症状はみられません）

⑱新型コロナウイルス担当者及び新型コロナウイルス対策委員会の設置（情報の一括集約･管理･対応策検討）
新型コロナウイルス担当者：岡本輝明［080-4244-2076］
新型コロナウイルス対策委員会
メンバー：川嶋実行委員・岡本実行委員・花房実行委員・財満実行委員・井口実行委員・深瀬実行委員

第15回ヒーローズカップは上記の通り対策やお願いを行いますが、万が一感染症の罹患があった場合において、大会主催者として一切の責任は負いません。

第15回ヒーローズカップ各大会への参加申込みの際は、この【新型コロナウイルスへの対策について】を参加するチームの全選手・指導員・保護者が対策遵守・協力を行うことの承諾をして頂くことになります。

ヒーローズカップ実行委員会及び各地域の運営委員会では、様々な対策を講じ、選手達の練習の成果を発揮できる舞台をご提供する所存です。日々状況が変化しておりますが、個人・スクール・大会主催者が協力しあい、予定通りに大会が開催できるよう、何卒ご協力・ご理解の程、宜しくお願い致します。

The 15th HEROES CUP　健康管理確認表 兼 参加承諾書

第15回ヒーローズカップは、スポーツ庁の定める『スポーツイベント開催・実施の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』に基づき、ヒーローズカップでのガイドラインを作成致しております。大会当日にグラウンドへご来場の全ての方へ下記の項目をお願いしております。大会のコロナ対策、安全確保のためにこのような条件で大会を運営致しますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

記

①２週間前からの体温及び健康チェック
　大会２週間前より**37.5℃以上の発熱**及びチェック項目に**１つでも該当する方は会場への入場を禁止**。
②健康管理確認表 兼 参加承諾書の提出（大会当日持参）※下部に記載
※その他、新型コロナウイルス対策については、
　最新版をホームページにて必ずご確認お願い致します。

新型コロナウイルスへの対策について→

第15回ヒーローズカップは上記の通り対策やお願いを行いますが、
万が一感染症の罹患があった場合において、大会主催者として一切の責任は負いません。

健康管理確認表 【選手・指導者・観戦来場者・大会関係者】

氏名		スクール名 団体名	
住所		連絡先	

●大会前日～２週間前までのチェック項目　　**全て該当しない場合✓を記入** □

□37.5℃以上の発熱（PCR検査・抗原検査での陰性は含まない）　□咳、のどの痛みなど風邪の症状
□だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）　□嗅覚や味覚の異常　□体が重く感じる、疲れやすい等
□新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無　□同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
□過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国･地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

●大会当日朝のチェック項目　　下記の項目に関して該当するものに○をつけて下さい

□朝の体温
℃

□熱がある　□下痢をしている　□体調不良で薬服用　□食欲がない
□体がだるい　□頭痛や胸痛がある　□昨晩睡眠が不十分

※一人１枚記入の上、当日朝の受付に提出。

参 加 承 諾 書 【選手】

第15回ヒーローズカップの各大会は大会規定の【新型コロナウイルスへの対策について】を基準として大会運営を行います。また、ヒーローズカップは、ラグビーの試合を通じて健全な精神と身体を養い、中学・高校・大学とラグビーを生涯スポーツとして続くことを目的としており、下記の事項を遵守され・ご理解の上、ご参加いただきたく、ご承諾頂ける場合は、ご署名・ご捺印をお願い致します。

記

1．選手自らが大会参加を望んでいること。
2．チームや仲間の為などとして指導者及び保護者が参加を強く求めないこと。
3．怪我をしている、又は、マッチドクターに競技続行不可能と判断された場合、当該選手は当日の試合には出場することができない。
4．選手が過度な体重増減量や過密な練習で疲労が蓄積していない状態であること。
5．選手として心身共に大会に参加できる万全の状態であることを確認し、保護者として承諾できる場合には、承諾書を提出する。

大会当日提出

保護者氏名		印	

関西協会管内　他府県交流試合届

令和　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ラグビーフットボール協会

理　事　長　　様

申請チーム

（登録番号）（　　）

責任者氏名　　㊞

この度、当チームでは下記のごとく他府県交流試合を実施いたしたく、

ここに他府県交流試合届を提出いたします。

チーム名	
遠征先都道県名	大阪府
期日	令和　4　年　11　月　13　日～　4　年　11　月　13　日（1日間）
グラウンド	たまゆら陸上競技場
試合名称	第15回ヒーローズカップ　近畿地区大会
対戦チーム	大会参加全チーム　（所属都道府県協会　京都・滋賀 奈良・和歌山）
内諾許可	可・否　（相手氏名　ヒーローズカップ 近畿地区大会 運営委員会）

〈所属協会確認欄〉

府県協会	地域協会

The 15th HEROES CUP

RUGBY TOURNAMENT

KINKI AREA

DOSHISHA-JUNIOR RUGBY FOOTBALL CLUB
EAST LAKE-RUGBY SCHOOL
FUSHIMI-RUGBY FOOTBALL CLUB
IKOMA-JUNIOR RUGBY CLUB
IWADE-RUGBY SCHOOL
JOYO-RUGBY SCHOOL
KASHIHARA-RUGBY SCHOOL
KIDSRUGBY-TORIMI
KIWI'S
KUSATSU-RUGBY SCHOOL
KYOTO-RUGBY SCHOOL
KYOTO PROGRES-RUGBY FOOTBALL CLUB
KYOTO WEST-RUGBY SCHOOL
MAIBARA-RUGBY SCHOOL
OMIHACHIMANSHI-RUGBY SCHOOL
OWLRAKUNAN-JUNIOR RUGBY FOOTBALL CLUB
RAKUSAI-RUGBY SCHOOL
OTSU RUGBY SCHOOL, SETA JUNIOR SPORT CLUBS ASSOCIATION
SOUTH KYOTO-RUGBY SCHOOL
WAKAYAMA-RUGBY SCHOOL
YAMANOBE-RUGBY TEAM
YAMASHIRO-RUGBY SCHOOL
YASU-RUGBY SCHOOL

RUGBY
HEROES CUP
2022

HEROES

RUGBY